

平成20年9月19日

響きあう石内っ子をめざして

広島市立石内小学校
校長 松島 利一

初秋の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素より本校の教育活動にご協力いただき深く感謝しております。

さて、今年度も「児童に対するアンケート」を全児童対象に実施しました。子どもたちが自身で学校生活について評価し、日常生活態度を振り返るとともに、教職員が児童の実態を把握して、今後の指導に生かすための資料とします。

アンケートにあげている項目は石内小学校で特に重点を置いて取り組んでいる目標です。保護者の方も、是非この資料をもとにして、子どもたちと日頃の学校生活について話し合いの場を設けてみてください。

学校としましても今回の中間評価をもとにして、後期の指導をより工夫して改善していきたいと思えます。

保護者の方のご意見やご感想等がありましたらお知らせください。

集計結果について

子どもたちは日々の生活を振り返りながら、一生懸命答えていました。その結果を表したものが右のグラフになります。また、教職員もこれまでの指導を振り返り、アンケートを実施しました。合わせてご覧ください。

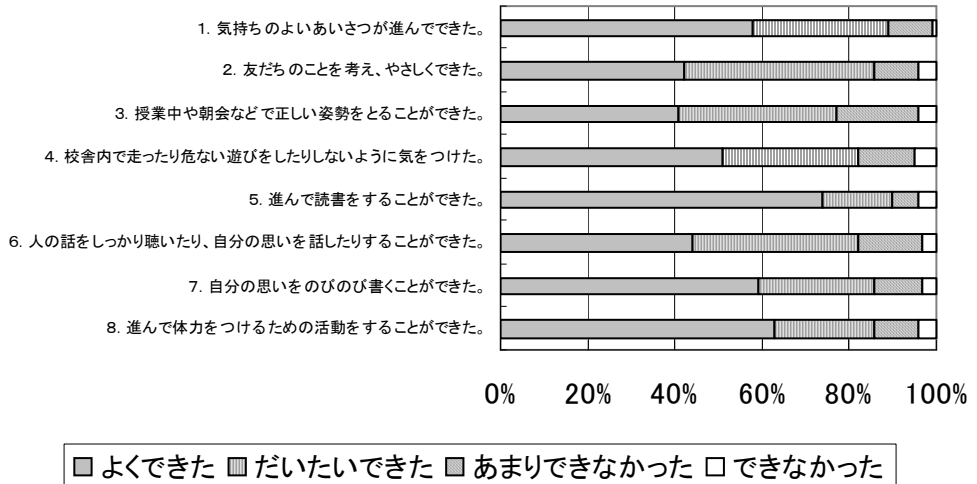
全体的な傾向として、約8割の児童が「できた」と答えています。特に、あいさつと読書については自己評価が高く、大きな声のあいさつが響く朝の様子や読書タイムの集中して読書する姿から、その態度が浸透してきていると感ずることが出来ます。地域では、どうでしょうか。

反対に気になることは、姿勢です。8割弱の児童が「できた」と答えていますが、日常生活全般の様子を考えるとまだまだできていないといえないようです。よい姿勢の意義を話しながら、学校生活の中で励ましていくことで、意識できるように指導していきたいと思えます。

また、今年度の取り組みの大きな柱でもある「書くこと」を中心に据えた表現することについては、児童がこれまで以上に意欲を持って楽しく活動できるように工夫し、その力を引き出していこうと思えます。

学校でも家庭でも、子どもたちが努力している姿や気持ちのよい態度など小さな変化を見逃さず、タイムリーに褒めていきましょう。そして、たくましく生き生きとした子どもたちを育てていくために、懇談会が良い情報交換の場となるようにしていきたいと思えます。

平成20年度 学校生活についてのアンケート 第1回(児童)



平成20年度 学校生活についてのアンケート 第1回(教職員)

